

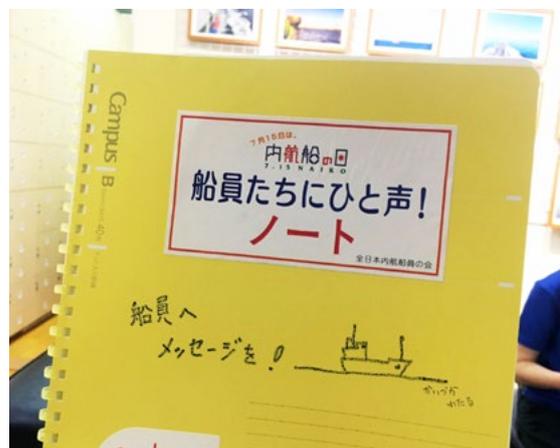


海から届ける写真展@大黒湯

第7回内航船の日記念（写真展は第5回目） 2022年7月15日～31日

東京下町、墨田区の人気銭湯のロビーで開催することで、毎年多くの老若男女が初めて「内航船」という言葉を知ります。

現役の船員たちから届いた写真を見ながら、海運に親しみを感じてもらい、物流の実績から見えてくる市民生活を連想してもらいます。すると、産業の課題、人手不足からカボタージュ政策までも共通の課題となっていきました。そこには悲観的というよりは、現実を知った者の「強さ」が残りました。島国住民としてのライフスタイルを意識した瞬間から、多くの方が海運の応援団になります。船を見る機会がない人に船の存在を紹介することは、海運産業の社会的責任ではないかと考えることになりました。



*大黒湯（東京都墨田区横川 3-12-14）

SNS のツイートで「内航海運」をより身近な存在に。

ツイッターによる写真展の告知は、そのまま海運産業のPRに。また、「内航船の日」という社会性の強い記念日の性質は、海洋の真ん中に暮らす私たち島国住民の「真実」へと導きます。

 **かいづかわたる**
@junni_800

#内航船の日 イベント【#海から届ける写真展 @大黒湯】は、7月15日午後3時から月末まで。スカイツリーのふもと、墨田区の銭湯「#大黒湯」のロビーで開催です。
多くの方に普段は目にしない国内海上物流に興味を持ってもらいたいと思っています。
ふと海を想う。島国の暮らしと内航船をイメージする日。



午後3:30 · 2022年7月14日 · Twitter Web App

記念日「#内航船の日」。
全国にはそれぞれの海がある。色も流れも匂いも活気も違っている。にも関わらず共感できて繋がりを感ぜられる記念日って、これほんととスゴイことなのだ。

午後0:28 · 2022年7月16日 · Twitter for iPhone

ツイートアナリティクスを表示

1件のリツイート 21件のいいね

 返信をツイート 返信

 **かいづかわたる** @junni_800 · 7月16日
返信先: @junni_800さん
その背後には常にアクティブに動いている内航海運の働きがある。

全国で #海から届ける写真展 ができるといいな。
業界団体関係者の方、よろしくお願いたします。
[#内航船の日](#)

  1  9  

写真展の作品に、「内航海運と市民社会の価値」を創出し繋がります。

【「地球の接続地、港ヨコハマ」】運び屋ゴブリンさんの作品。
地球を感じるダイナミックな港ヨコハマ。物流は日本全国、世界各地へと繋がっている。
理屈でなく感じることで理解する。港の景色を船員だけの景色にしてはいけないと思う。島国住民みんなの景色だとイメージしたい。#海から届ける写真展



運び屋ゴブリン「地球の接続地、港ヨコハマ」

午前11:53 · 2022年7月23日 · Twitter for iPhone

【「凧の一時」松山湾】キリンさんの作品。
もっと大きな写真で見たい作品。凧の海面に多くの船が浮かんでいる。
遠い国から来た船も、近場の船も、海域全ての船員と一緒に凧の一時をすごす。
同様に荒天の海と一緒に耐えるのも日常だ。陸で国家間で揉めてる時でも海は一つ。
#海から届ける写真展



キリン「凧の一時」松山湾

午後0:25 · 2022年7月23日 · Twitter for iPhone

≫ 続き

【「生活の立役者」東京湾木更津沖】オレオさんの作品。
海側から島国を見る。市民生活の舞台裏の現実に人間の
パワーを見る。
現実を見ながら「想像力」を働かせたい。このパ
ワー、ほんの少しベクトルを変えてみるだけで良くも
悪くもなる。

#SDGs

#海から届ける写真展



午後9:44 · 2022年7月23日 · Twitter for iPhone

【「流水航海」釧路港】しろこさんの作品。
今日も危ない暑さなのでコチラ！
釧路港で撮影の氷の海。
船の仕事が大自然の中での仕事であることが非常に分
かりやすい。

大自然の中、つまり他にも分かりにくい要素について
もイレギュラーが多い環境という意味です。

#海から届ける写真展 #内航船の日



午後1:21 · 2022年7月24日 · Twitter for iPhone

【「これから船と夜勤」遠州灘】daiさんの作品。
荷役設備が付いている種類の船は頼もしさムキダシ
だ。
目の前の広大な海と空が次第に闇夜に染まっていく夕
刻。高まっていく緊張感。夜の海の真ん中「これから
船と夜勤」。

ひとり当直の気持ちが伝わってきます。

#海から届ける写真展 #内航船の日



午後9:37 · 2022年7月24日 · Twitter for iPad

【「港から港へ 島から島へ」甌島列島沖】大吟醸船
長さんの作品。
島々を通り抜け遠い南の島の港まで走り続ける「大峰
山丸」。
大吟醸船長は、不便でつまらない海上での生活を楽しく
変えるのは船員自身と説く。その責任を一身に背負
い旨い魚が釣れる錨地を探すのだ。

#海から届ける写真展 #内航船の日



午後9:53 · 2022年7月25日 · Twitter for iPad

【「夜の部スタート」千葉県君津】古い水夫さんの作品。
眠らない港にこれから入っていくところでしょうか。
よく見ると乗組員たちの姿も見えます。
陸の人間の営みまで自然のムードに馴染んでみえる風景の中で、鉄の船体と浮かぶ。

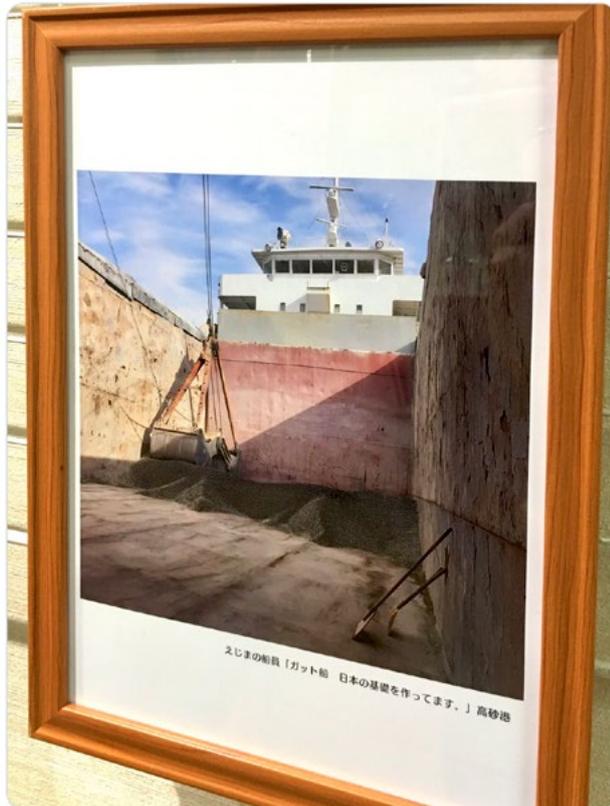
#海から届ける写真展 #内航船の日



午後2:34 · 2022年7月26日 · Twitter for iPad

【「ガット船 日本の基礎を作ってます」高砂港】えじまの船員さんの作品。
砂利などを運ぶ船の船倉から。右側には人が使うシャベルが見える。
まさに日本中の基礎を作ってきた。誇らしく語る船員。
そこにはちゃんとシャベルがある。こうして島国は成長してきた。

#海から届ける写真展 #内航船の日



午後3:57 · 2022年7月29日 · Twitter for iPhone

【「山と街と船と」海ぼたる沖】錆打ちマスターさんの作品。
富士山の手前に見えるのは横浜の街ですね。そして働く船。

なるほどなあ、陸の人が暮らしの中で「山と街と船と」とイメージする日を想像する。夢のような海洋文化社会。でも、これ夢でなく現実なのだ。

#海から届ける写真展 #内航船の日



午後5:38 · 2022年7月26日 · Twitter for iPad

【「今きれいにしてやるからな...業者が。」】甲羅もちさんの作品。

前回の写真展に続きモノクロでドック中を撮影した作品。

ドック内は船員にとっても非日常。ダイナミックな世界に船体整備のプロ中のプロが沢山いてドラマチック。モノクロにしたくなるの分かる！

#海から届ける写真展 #内航船の日



午前11:59 · 2022年7月28日 · Twitter for iPhone

【「熊野灘の朝なんダナ〜」】 sarahaさんの作品。
船員は何度も何度も優しい美しい海の景色に励まされる。
ただ、船には、人ではかなわない重圧に耐えるための古タイヤが、ゴツゴツとした鎖でぶら下げられている。
海が優しいばかりでないことは十分に知っている。
#海から届ける写真展 #内航船の日



午後4:13 · 2022年7月29日 · Twitter for iPhone

【「夜明け前の貨物船」】しがらきの船乗りさんの作品。
一見、よくある内航貨物船に見えても専用船だったりする。
鉄鋼、石油、ケミカル、石灰石、セメント...それぞれ専用岸壁に着ける内航船ばかり。
内航船。効率のいい物流を実現しています。
#海から届ける写真展 #内航船の日



午後6:38 · 2022年7月30日 · Twitter for iPhone

【「着棧時の緊張」横浜港】パーゼロライナーさんの作品。
船体をしっかり制御しながらデッドスローで近づいてくる。
船首で全体を把握しマイクで全船員に状態を報告していく一等航海士。
潮流を感じ、風を感じ、一步前を予測し、各部署の能力を信じ合う。今も昔も。
#海から届ける写真展 #内航船の日



午後3:33 · 2022年7月31日 · Twitter for iPhone

【「黎明」高知沖】ぼーやさんの作品。
すべてがまた1から始まるのが朝であることを知らせる朝。気持ちいい。それでイイや。
少数定員の船内。もうちょい乗ってみるかな。そんな感じで乗り続けている船員だっている。
#海から届ける写真展 #内航船の日



午後6:27 · 2022年7月31日 · Twitter for iPhone

≫ 続き

【「燃料キター」関門港】kさんの作品。
 感じてほしい、この朝の空気感。本船に燃料を届ける
 ためにトコトコトコトコとやってくる。そして先頭で
 オジサンがロープを持っている。
 よし！まずはロープで繋がろう。
 ありがとう。陽が登ってきた。
 #海から届ける写真展 #内航船の日



午後0:36 · 2022年7月30日 · Twitter for iPad

【「仮バース、黄昏時」】Capt.miracle.Nyangさんの作品。
 黄昏時にみる船のシルエットには、太古の人類が感じ
 たのと同じ挑戦の魂や自然界への畏敬の念が詰まっ
 ている。
 陸の人と一緒に見たい。ここは島国。
 #海から届ける写真展 #内航船の日



午後10:28 · 2022年7月31日 · Twitter for iPhone

【「青空の下でホーサ補強」鹿島沖】しるこさんの作
 品。
 テレビで天気図をみた時、ニュースで船をみた時、物
 流の課題を聞いた時、いつも船員の姿を思いだしてほ
 しい。
 私たちは間違いなく島国の仲間として多くの問題を乗
 り越えていく。
 #海から届ける写真展 #内航船の日



午後10:15 · 2022年7月31日 · Twitter for iPhone

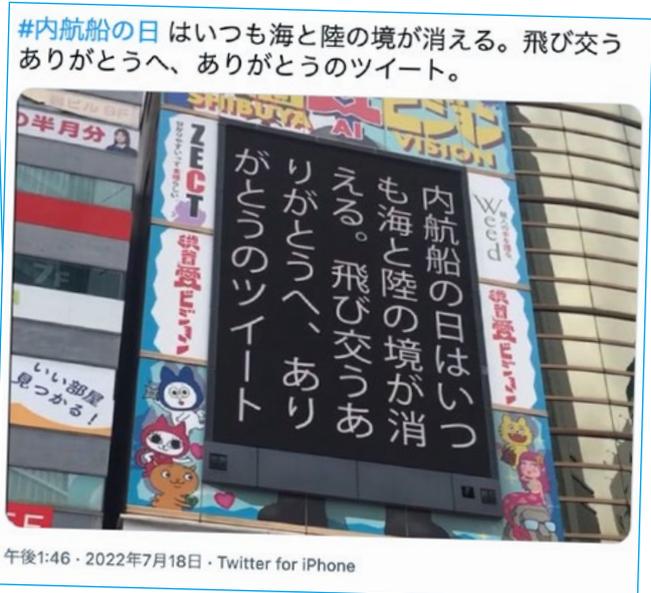
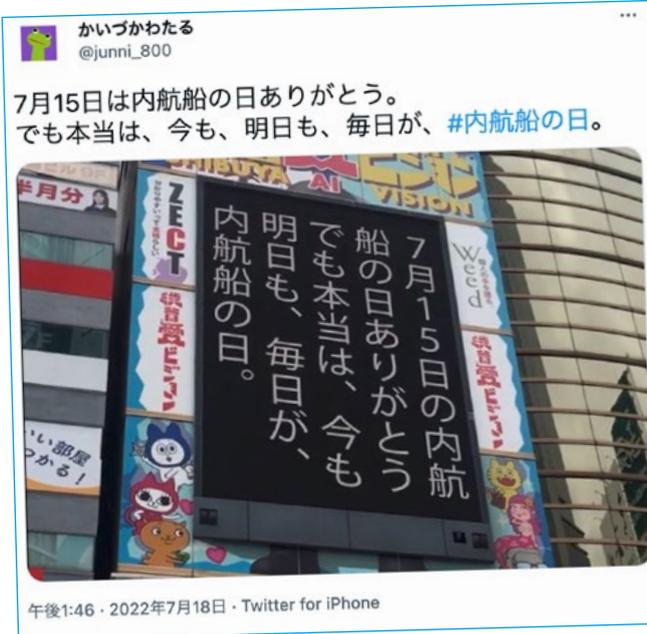
【「虹のトンネル」三原瀬戸】ショッペさんの作品。
 船員の中に虹をくぐった者はいない。
 この先、遠隔で船を動かす者が現れた時には、正確な
 虹の位置を割り出し、くぐったと言う者も現れるかも
 知れない。
 虹をくぐれない船員にこそ信用があることに気が付く
 日だ。
 #海から届ける写真展 #内航船の日



午前1:07 · 2022年8月1日 · Twitter for iPhone

ネットで盛り上がった記念日「内航船の日」 市民社会へ向けて、感謝のメッセージ。

(東京都渋谷区宮益坂交差点)
放映協力 株式会社 ゼクト



「内航船の日」(7月15日当日)にツイッターに溢れた大量の記念日応援のツイート(#内航船の日)に、東京・渋谷の巨大モニターを使ってお礼のメッセージを放映しました。海と陸との垣根を超えていく「内航船の日」の特徴を生かしたメッセージを作成し、社会的な海洋文化発展の意識を盛り上げています。(応援者のご厚意によって放映が実現しました)



セミナー会場の様子

東京・渋谷の宮益坂交差点にて非常に賑しい波とが健全に発達していった。差生にある巨大モニターなるが、これを乗り越え、ほい。養育関係者には「愛着」で現在、内航船の日(7月15日)を提供してきている様々な業種が内航に目を向け「海から届ける写真展の大黒潮」は7月13時5分より時々の2回、7月21日まで放映される。

これは、内航船業向け健康増進プロジェクト「デジタル船員手帳」を主催する同イベントを主催する全日本内航船員の会の松見進事務局長は、「働き方改革は内航海運業に

内航船の日イベント

☆渋谷の巨大モニターでCM放映中☆

東京・渋谷の宮益坂交差点にて非常に賑しい波とが健全に発達していった。差生にある巨大モニターなるが、これを乗り越え、ほい。養育関係者には「愛着」で現在、内航船の日(7月15日)を提供してきている様々な業種が内航に目を向け「海から届ける写真展の大黒潮」は7月13時5分より時々の2回、7月21日まで放映される。

これは、内航船業向け健康増進プロジェクト「デジタル船員手帳」を主催する同イベントを主催する全日本内航船員の会の松見進事務局長は、「働き方改革は内航海運業に

内航船伝言板
海外から届ける写真展
7/15~7/31
押上線 大黒潮
全日本内航船員の会
POWERED BY ZECT

内航海運新聞 2022年7月18日号掲載
【内航船の日記念イベント「海から届ける写真展」を告知する宣伝も渋谷で放映】

海運産業の側からも応援をくれる市民社会へ寄り添う。

下段枠のツイートを引用する形で広く紹介し、
上段で海洋文化社会を呼びかけています。

かいづかわたる
@junni_800

ホントにそう。
どんなに辛い時も市民生活を支えているんだという誇りで頑張っている。
生活が豊かになり都市に発展していくたびに港湾は大きく拡張されて、どんどん町から見えなくなっていく。
#内航船の日、今日はみんなと一緒に。(全日本内航船員の会)

大吟醸船長 @capptsune · 7月15日

#内航船の日という記念日を通じて日常生活に不可欠な遠い海の上の世界にほんの少しでも目を向けて頂けるだけで我々船員は救われる思いです。
youtu.be/dLH85-lvWw4



午前8:18 · 2022年7月15日 · Twitter for iPad

休暇が写真展と重なった船長が、
会場の東京・墨田区の銭湯に駆けつけました。

かいづかわたる
@junni_800

大吟醸船長 (@capptsune)、#海から届ける写真展 来てくれましたー！
お花も、ありがとうございます！！#内航船の日



午後6:59 · 2022年7月25日 · Twitter for iPhone

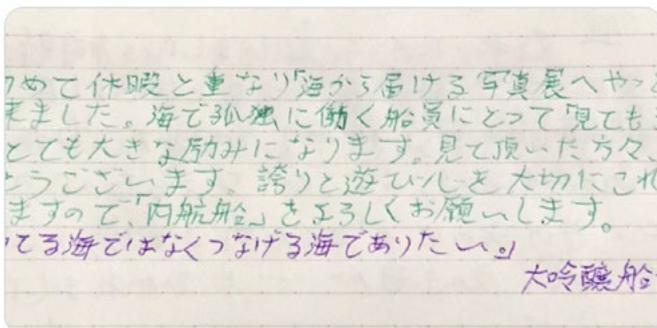
ツイートアナリティクスを表示

件のリツイート 111 件のいいね

大吟醸船長からのメッセージ。
「海で孤独に働く船員にとって「見てもらう」だけでとても大きな励みになります」

ほんと。その通りです。
陸側の海運関係者には、見えないところで働く船員や船が社会を構成する仲間である事実をPRする責任があるのではと思います。

#海から届ける写真展 #内航船の日



午後11:11 · 2022年7月28日 · Twitter for iPhone

「陸側で海運に関わる者には、市民から見えない場所で仕事に励む船員や船が社会を支えている仲間である事実をPRする『責任』があるのではないか」

今年の「海から届ける写真展@大黒湯」は、新型コロナウイルスのために3年ぶりの開催となりました。その間も、海上では内航船は休まず市民社会を支えており、内航海運を写真展で紹介できないことは本当に悔しいことでした。振り返れば、これまでは大震災や豪雨災害などの度に、内航海運の活躍を紹介していました。

本来ならばエッセンシャルワーカーとして認識されるべき船員たちにワクチン接種が進んでいない状況が浮き彫りになった時にもショックを受けました。しかし、実態をツイッターで発信したところ、記念日「内航船の日」で繋がってきた全国の一般の方たちが、次々とSNSを使って船員へのワクチンの接種体制を求めてくれたことには気持ちが救われました。

日頃から、内航海運が物流で果たしている実績や社会的な重要性を発信していくことの大切さはもちろんですが、海上で仕事に励む「船員たちの人間味」が伝わってこそ、望める産業の未来もあると感じました。

物流政策や海事政策が議論される時には、一番小さな単位でも「一隻」の船単位であることが多い。しかし、そこに個々の個性的な船員たちをイメージできていなければ、当然、血の通った温もりのある方策にはなり得ない。

「海から届ける写真展」では魅力的な船員たちの個性が見えてきます。様々な船員を知って、Twitterで本人のアカウントを見つければ、彼らも常に私たちと同じ時を過ごしています。時に、愚痴をこぼし弱気になったり、自慢話でいい気になっていたり、急に真面目に島国の海上物流の責任感を語っている。現代ではそんな船員たちの等身大の個性を陸へ伝えることこそが、船員という職業への憧れにつながっていくと考えます。

数年前までは、海運の重大な社会的役割

をアピールしたり、日本人船員のガチガチな優秀さを広報することが、産業のピーアールの中心でしたが、ソーシャルメディアによる新しい文化の広がりによって、個々人の顔が見える社会性や人間味に、産業への親しみや信用を感じ取る時代に入っています。

今回、誌面にて「海から届ける写真展@大黒湯」の写真作品を、Twitterで実際にツイート発信したコメントと共に紹介させていただきました。これらのコメントは、毎年「大喜利」のように対応して発しているものです。

面白い発見があります。「海洋」には、実にあらゆる角度、色々な観点からのコメントが差し込めるという事実です。「海」は特別。そのことをいち早く知れることも、島国に住む私たちの特権かもしれません。

文部科学省の高橋洋子氏（主任教科書調査官）を訪ねました。「海を考えるとということはどういうことなのか」について彼女の持論。

海洋教育のあるべき姿というのは、「横断的・総合的な学習の時間である」。社会科に限らず、理科や生活科、国語や図工で行ってもかまわないが、最終的に「海洋」をプラットフォームとして紐づけること。それは単に知識ベースのことだけでなく、「多面的・多角的な見方」、あるいは「社会的見方・考え方」を育てるという観点から取り上げることができる。

私は、毎年、写真展を開催して来て、ようやく大きな意味での「海」の価値を知ることになりました。そこで広く周知したいと考えます。

「海から届ける写真展」は、個人で開催している小さな写真展ですが、「海運現場」と「市民社会」との貴重な「リアル世界の接点」として全国で展開したいと願っています。

（理事 松見 準）